

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	英語演習		
英文授業科目名	Intermediate Seminars in English		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	奥 浩昭		
居室	東1-805		

公開E-Mail	授業関連Webページ
oku@hc.uec.ac.jp	http://www.oku.hc.uec.ac.jp/

<b>【主題および達成目標】</b>
<p><b>【主題】</b>                      グループ毎にテーマを選び、それに関する資料を自ら収集し、その内容の紹介と内容への評価を、英語で行う。</p> <p><b>【達成目標】</b>                      上記主題に沿った行動を、自信をもって実践できるようになる。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
マーク・ピーターセン『心にとどく英語』（岩波新書） 松本茂『速読速聴英単語Core』（増進会出版社）

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

- ・ 4名前後のグループを作り、グループ毎にテーマ(トピック)を選び、必要なデータを収集し、調べた内容を要約し、内容への評価を行う。
- ・ これを2度行う。
- ・ 『心にとどく英語』・『速読速聴英単語Core』から、コミュニケーションに役立つ表現を学ぶ。
- ・ (教室外) ALC NetAcademy や「リズム学習」：言語自習室での学習。これは非常に重要です。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### 【成績評価方法】

- ・ 予習：2割
- ・ 授業での発表：3割
- ・ レポート：2割
- ・ 試験：3割

#### 【評価基準】

- ・ 上記達成目標に照らし合わせて行う。
- ・ 最低達成基準  
5分間のスピーチと、30分間のライティングで、思っていることの半分は表現できるレベルに達している。

### 【オフィスアワー：授業相談】

月・火5限：言語自習室(F101)で、主に英語学習の相談を受けます。

### 【学生へのメッセージ】

#### 1) キャッチフレーズ

- ・ 使わなければものにならない。
- ・ If not now, when? If not here, where?

(今しなくて、いつ? ここでしなくて、どこで?)

#### 2) 考えを、英語で「何とか」表現できるよう、あきらめずに最後まで。

### 【その他】

学びの成果として、英検準1級レベルの力を、そしてTOEICで730点を。